

ヤマモモ

●所在地／平岡 ●所有者／個人

ヤマモモ科。幹周は胸高^{かんしゅう きょうこう} 377cm、株元^{きょくもと} 420cm、樹高^{じゅこう} 約 10m で、大枝が根元から 2～2.5m 付近で 8 分枝^{ぶんし}している。樹齡は 300 年と推定できる。

樹冠^{じゅかん}は半径約 7m に広がっているが、枝の間は透けていて特に茂っているとはいえない。株元には数本の太い根が露出しているが、樹勢は良好である。

ヤマモモは西日本の照葉樹林^{しょうようじゅりん}に自生する雌雄異株^{しゅういしゅ}の高木^{めかぶ}で、この木は雌株である。6 月に径 1.5cm くらいの実をつけ、熟すると赤紫色になり、甘酸っぱく独特の香りがある。

近年は改良された雌雄同株^{しゅうどうしゅ}の園芸品種がある。

